

広報

3

Mar.2021
vol.615

こおり



献上桃の郷。
桑折町
こおりまち

10年の歩み

2011	
3月	東北地方太平洋沖地震発生 福島第一原子力発電所事故発生 福島蚕糸跡地に仮設住宅建設開始
4月	仮設住宅入居開始
6月	園庭・校庭の表土除去作業開始
9月	積算線量計(ガラスバッジ)配布
12月	果樹除染、食品放射能測定開始
2012	
2月	復興こおり創造プラン策定
3月	内部被ばく検査開始
7月	町内除染作業開始
9月	米の放射性物質全量検査開始
2013	
7月	天皇后両陛下下行幸啓(町内通過)
2014	
2月	映画「物置のピアノ」特別試写会
3月	旧伊達郡役所保存修理工事完了
5月	安倍総理大臣が町内仮置き場を視察
2015	
1月	町制施行60周年記念式典
5月	イコーゼオープン 災害公営住宅竣工式(第1期整備)
7月	天皇后両陛下下行幸啓(桃農家視察)
2016	
9月	桑折西山城整備事業着手
11月	第1回在京桑折会
2017	
3月	災害公営住宅竣工式(第2期整備)
4月	幼稚園統合・新生醸芳幼稚園誕生
6月	もんも館、すくすく開所
10月	ふれあい公園屋外ステージ完成
2018	
4月	レガールこおりオープン
7月	桑折町献上桃25周年記念式典
9月	桑折高架橋連結記念式
12月	献上桃の郷こおり創生プラン策定
2019	
4月	桑折町蚕糸記念公園竣工式
10月	令和元年東日本台風発生
2020	
7月	こおり健康楽会設立
8月	相馬福島道路(伊達桑折IC~桑折)CT)開通
9月	全国山城サミット桑折大会プレ大会
2021	
1月	役場新庁舎開庁



1_原型をとどめないほどの家屋被害 2_日の丸の小旗を振って両陛下を歓迎 3_仮設住宅300戸を建設 4_桃の木を丁寧に洗浄 5_イコーゼのプールでのびのびと泳ぐ 6_平成6年から連続して献上桃に指定 7_映画「物置のピアノ」の上映会で感動に包まれる出演者と町民の皆さん 8_待望の災害公営住宅が完成 9_復興のシンボル「相馬福島道路」の本町区間が開通

平成25年、27年には、桃農家激励のため、天皇后両陛下が二度にわたりご来町。多くの町民にとっても、復興への大きな励みとなりました。また、被災した桑折町を舞台にした映画「物置のピアノ」では、希望をもって元気に過ごす町民の姿が映し出されました。平成27年には、新たな町のシンボルとして、イコーゼと災害公営住宅が完成。令和元年には、復興道路「相馬福島道路」の本町区間が開通するなど、一歩一歩着実に復興への歩みを進めてきました。

Special Feature 東日本大震災からの軌跡

あれから10年—— ともに未来へ

10年前の3月11日、大好きなわが家、思い出の場所が失われました。立ち止まり、時に振り返り、そして、前へ進んできた10年。この節目に、東日本大震災からの軌跡をたどり、ともに未来を考えていきましょう。

2011年3月11日に発生した、福島県沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災。宮城県栗原市で最大震度7を、震源地から約200km離れた桑折町では6弱を観測。町民のほとんどが経験したことのない激震。町内各所で道路が崩落し、家屋被害は3,324棟にまで及びました。さらに追い打ちをかけるかのように、東京電力(株)福島第一原子力発電所で放射能漏れ事故が発生しました。

町は、「町土の除染なくして復興なし」「町民の健康なくして復興なし」「町民の安心なくして復興なし」を3大スローガンに掲げ、確かな復興を実現してきました。震災から4日後の3月15日には、県内トップを切って仮設住宅を建設。町内で住居を失った人や原発事故で避難してきた浪江町民を受け入れました。また、放射能の影響で汚染された町土や出荷制限の対象となった果樹を「早く除染。この甲斐あって、町特産の桃は、事故後途切れることなく、献上桃の指定を受け続けています。

災害対策本部の動き

2/13

23:47 災害対策本部設置
地域整備課町内パトロール開始

2/14

0:30 避難所開設（イコーゼ、役場）
0:55 防災無線で各町内会の被害状況確認
1:50 避難所開設（醸芳・睦合・伊達崎小、半田公民館）
広報車で避難所開設など呼びかけ開始
4:05 役場前に給水車を配置
6:00 アルファ米による炊き出し・配給
7:30 避難所閉鎖（醸芳・睦合・伊達崎小、半田公民館）
9:45 災害ごみ臨時受け入れ対応を周知
17:00 避難所閉鎖（イコーゼ）

2/15

8:30 り災・被災証明発行受付開始

2/16

5:00 避難所閉鎖（役場）

町の主な被害状況（2月22日現在）

項目	被害状況
人的被害	11人（重傷1人、軽傷10人）
住家被害	143件
非住家被害	94件
ブロック塀崩れ	42件
物的被害	
石垣崩れ	6件
道路の落石	4件
法面崩れ	2件
その他	14件

※住宅・非住宅被害件数は、り災証明申請件数による。



12_ 避難所のテレビで被害状況を確認 13、14_ 早朝から役場で水と食料を配給 15_ エリアメールや防災無線、SNSなどで被災状況や町の対応を早急に周知



東日本大震災から、あと1か月足らずで10年を迎えようとしていた、2月13日午後11時8分ごろ――。不気味な地鳴りとともに、ドンと突き上げるような縦揺れが桑折町を襲いました。桑折町では、東日本大震災の時と同じ震度6弱を観測。気象庁によると、この地震は10年前の東北地方太平洋沖地震の余震とみられています。

「前回よりも被害が大きかった」「前は何ともなかった場所が、今回はダメだった」とため息混じりに漏れる声。以前と比べて揺れの時間は短かったものの、屋根瓦が落ちたり、食器がなだれ落ちて割れたり、各所で大きな被害がありました。また、今回の地震発生時刻は真夜中。揺れている最中に突如全世帯で停電となり、町内を包む暗闇がさらに恐怖をかき立てました。町は早く災害対策本部を設置し、町内6か所に避難所を開設。20世帯32人が避難し、非常灯の明かりの中、各世帯で



身を寄せ合って一夜を過ごしました。夜が明けると、平穏だった町並みは一変。いたるところでブロック塀が崩れ、道路に亀裂ができ、通行止めとなるところも。一部地域では断水被害もあり、早朝から役場で、水や食料を配給しました。また、町有施設にも地震の爪痕が――。旧伊達郡役所や旧役場分庁舎では、瓦が落下し、種徳美術館では、多くの展示ガラスが割れました。睦合公民館では、天井の蛍光灯が抜け落ちそうになるなど、各所で揺れの大きさを物語っていました。

1、2、3_ 甚大な被害を受けた種徳美術館 4_ 墓石が倒れた伊達朝宗の墓 5_ 駐車場へ瓦が散乱する旧役場分庁舎 6_ うぶかの郷は浴室などが被害を受け、臨時休館に 7_ がれきが道路をふさぐ 8_ 睦合公民館では天井の蛍光灯が落ちる寸前に 9_ 道路に亀裂が発生 10、11_ 今回の地震ではブロック塀被害が相次いだ

またか
よみがえる記憶



震災を胸に刻んで、前へ

さまざまな形で向き合う震災の記憶。
あの日の出来事を胸に刻み、いま思いを新たにします。

東日本大震災発生時は、町内会長として、町内をパトロールしながら各世帯に食料などの救援物資を届けたり、伊達崎公民館で浪江町からの避難者を受け入れたりしていました。とにかく皆さんを守ろうという一心で、自宅に戻れたのは、震災発生から3日後のことでした。

あれから10年、みんなで「大丈夫」と声を掛け合い、共に前を見つめ合い、平穏な日常を取り戻しつつあります。その間にも、イコーゼや災害公営住宅ができたり、桑折ジャンクションや伊達桑折インターチェンジ、役場新庁舎が完成し

たり、多くの企業が進出したりと、周辺環境が大きく変化してきました。これも復興の表れだと感じています。

先日、震災から10年という節目を迎える矢先に大きな余震が発生。「災害は忘れたころにやってくる」という言葉が頭をよぎりました。きっと多くの人が東日本大震災を思い出し、「3.11を忘れない」と、改めて防災について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。過去の災害を教訓として語り継ぎ、みんなで安全安心に暮らせる町をつくっていきたくたいです。



行政連絡員連合会会長
佐藤 久仁夫さん

Interview



当時中学生
佐藤 淳史さん

今でも鮮明に思い出す大きな揺れ。被災した経験が自分の中での「転換期」となりました。生徒会長へ挑戦したのも、東京の大学へ進学後、地元へ戻って就職を決めたのも、震災がきっかけです。日々何となく過ごすのではなく、明確なビジョンを描いて生きようと強く思うきっかけになりました。



浪江町から避難
中目るみ子さん

家族で原町へ出かけていた時に被災。急いで車を走らせる最中、「海の方がキラキラしている」という子どもの言葉にハッと、浜へ目をやると津波が押し寄せていました。何か所も避難所を転々とし、友人と桑折町の仮設住宅へ。助けてもらった感謝の気持ちを忘れず、恩返ししていきたいです。



町消防団団長
津田 次男さん

震災発生時は、副分団長として、避難所運営や道路破損による通行止めに対応しました。避難所に人が押し寄せると、十分な機能を果たせなくなります。2次災害を防ぐためにも、慌てない行動や最低3日間分の食料を確保することが大切です。今後も気を緩めず、万一の災害に備えましょう。

あの日から10年。まるで「東日本大震災を忘れるな」というメッセージであるかのような、2月13日に発生した巨大余震。復興を成し遂げる中、改めて自然災害の恐ろしさを思い返す出来事となりました。

あの年生まれた子は小学生になり、あの時中学生だった子は社会の荒波にもまれていきます。浪江町から避難してきた人は、仮設住宅から災害公営住宅へ移り住んだり、別な地で新居を築いたりしています。誰にも等しく10年の月日が流れました。

町が復興へ歩みを進めると、被災の爪痕を残した家屋や建物は姿を消します。それでも、あの日学んだ教訓は忘れてはなりません。「あんな大地震、もう来ないと思っていた」「油断していた」。今回の余震は、10年前を思い出すきっかけになったのではないのでしょうか。今こそこの節目に、震災を振り返り、改めて防災について考えましょう。震災の記憶を風化させないため、そして、自分自身と大切な人の命を守るためにも――。



「大変だったね、一緒に頑張ろう」
「こういう時は、お互いさまだから」
「くよくよしても、仕方がない」
この町にあるあたたかさや強さが復興を押し進めてきた。



いつか震災の経験者はいなくなる。震災を知らない世代にもこの町であったことを伝えよう。これから先も、ここにある笑顔を絶やさないように。



ここにある笑顔と未来 ずっと守りたい

震災を乗り越えた先にあった、この笑顔。
次世代が思い描く未来へ向かって、ともに歩いていきましょう。

桑折町小・中学生 各種コンクール受賞報告

キラリと光る、多彩な才能評価され

令和2年度におけるさまざまな分野のコンクールで、名誉ある賞に選ばれた20人の児童と生徒たち。代表者5人に、作品に込めた思いや、受賞の知らせを受けたときの気持ちを聞きました。どの作品からも、地域への愛情や家族とのきずなが伝わってきます。

国や県が主催するコンクールや、教育委員会による「コロナに打ち勝て桑折っ子プロジェクト」において、優秀な成績を収めた児童・生徒たち。当初「合同受賞報告会」の開催を予定していましたが、2月13日に発生した地震の影響により、やむなく中止となりました。代わりに、広報紙で代表者の思いを紹介します。

「コロナに打ち勝て桑折っ子プロジェクト」とは、新型コロナウイルスに負けずに、自分自身や家族、地域で取り組むコロナ対策を募集したもので、特に工夫と努力が認められる人を表彰しました。

▼各種コンクール受賞者の皆さん
 醸芳小3年 荒川蒼志さん（県読書感想文コンクール 特選）、半



ざぶん賞作文コンクール
 齋藤 人和さん =醸芳中=

「うちの桃は世界一」と題し、町内で桃農家を営む祖母のことを書きました。きっかけは、「今日は暑いから、桃たちも喉が渇いているだろうなあ」という何気ない祖父の一言。詳しく聞くと、「桃も人間と同じように、生命が宿っていること」「水分管理が良い土づくりにつながっていること」を教えてくださいました。桃の気持ちを知り尽くし、難しい水分管理を行う祖母だからこそ、「献上桃」という高品質な桃を作れるのだと感じました。

受賞式の日、偶然にも祖父の誕生日でした。自分のことのように受賞を喜んでくれた祖父の笑顔を見て、一層うれしさがこみ上げました。いつも美味しい桃を作ってくれる祖父母に、最高のプレゼントができたと思います。

水や海をテーマにした創作文コンクール。ざぶん賞実行委員会主催。全国6,657点の中で、全国2位相当の準ざぶん大賞に選ばれた。



中学生作文コンクール
 阿部 ちづるさん =醸芳中=

昨年5月に母ががんで亡くなり、その時生命保険に助けられた実体験を書きました。母の死を通して、人生とはいつ何が起こるか分からないと思い知りました。生命保険に入っていたおかげで、急な入院費用なども慌てずに済み、保険の大切さを実感しました。

今まで自分が入っている保険の身をきちんと把握していませんでしたが、このことをきっかけに、父に聞いたり、インターネットで調べたりして、理解を深めています。自分の経験をもとに、周りの人にも「保険は自分だけでなく、誰かの役にも立てる」ということを伝えたいです。

受賞の知らせを聞いて、家族みんなで驚きました。天国にいる母も、きっと「よく書けたね」と喜んでくれていると思います。

暮らしと生命保険をテーマにした作文コンクール。生命保険文化センター主催。全国26,018点の中から県内1位に選ばれた。



全国地域安全運動 標語部門
 佐藤 和歩さん =醸芳中=

「灯る道 選んで歩けば 防ぐ道」。夜道を歩く子どもや女性が犯罪に巻き込まれることが多いというニュースを見て、この標語を作りました。上五の表現に悩みましたが、単に「明るい道」とするのではなく、文字数に合わせて「灯る道」とし、見た人の印象に残るような言葉を選びました。

警察署の方から直接電話で受賞の知らせがあり、まさか選ばれるとは思っていませんでした。新聞にも受賞の記事が掲載されてうれしかったです。

標語づくりをきっかけに、地域の安全や防犯にも興味がわきました。自分自身も夜道を歩くときは街灯が多い道を選び、周りの人にもこのことを広めて、犯罪が少しでも少なくなればいいなと思います。

県防犯協会連合会らが地域安全をテーマにした標語を募集。県で2位の優秀賞となり、全国審査で3位相当の佳作に入賞した。



県読書感想文コンクール
 荒川 蒼志さん =醸芳小=

授業で習った地球温暖化について興味があり、「ポリぶくろ、1まい、すてた」を読みました。地球温暖化を防ぐためには、プラスチックの排出量を減らすことが大切だと学びました。

早速自分でできることを実践してみることに。母と買い物へ行くときには、レジでポリ袋をもらわず、エコバックを使ったり、プラスチック容器の製品をあまり買わないようにしたり心がけています。大人になっても、この習慣を続けたいです。

昨年もこのコンクールで入選し、2年連続で選ばれてとてもうれしいです。読書が大好きで、普段から1か月に10冊くらいの本を読んでいます。これからもさまざまな分野の本をたくさん読んで、自分の中の引き出しを増やしていきたいです。

読書を通じて思考力を育むことを目的に学校図書協議会らが主催。各地区で選ばれた小中高402点の中から、小学3年の部で1位に選ばれた。

田醸芳小2年 田中彩瑛さん（ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業）復興部門 優秀賞、伊達崎小1年 八巻彩葉さん（県読書感想文コンクール 入賞）、醸芳中2年 齋藤人和さん（ざぶん賞作文コンクール 準ざぶん大賞）、同中3年 佐藤和歩さん（全国地域安全運動 地域安全標語部門 子供と女性の犯罪被害防止 佳作）、同中2年 阿部ちづるさん（第58回中学生作文コンクール 都道府県別1等福島県）、同中2年 永塚大雅さん（県地域安全作文コンクール 佳作）、同中2年 豊島桃奈さん（県読書感想文コンクール 準特選）

▼「コロナに打ち勝て桑折っ子プロジェクト」受賞者の皆さん
 醸芳小6年 斉藤莉子さん、同小3年 佐藤煌太さん、同小2年 菅野泰瑠さん、陸合小6年 佐藤楓さん、同小6年 六戸桃音さん、半田醸芳小6年 佐藤大介さん、同小6年 佐藤琉空さん、伊達崎小6年 大槻虎海さん、同小5年 幕田悠介さん、醸芳中1年 遠藤咲穂さん、同中2年 豊島桃奈さん、同中3年 加藤実耶子さん



コロナプロジェクト
 豊島 桃奈さん =醸芳中=

コロナ対策と地球温暖化対策を両立するプロジェクトを考えました。新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛の影響で「おうち時間」が増えたため、自宅の電気使用量が増えていることに気がきました。コロナ対策をしながらも、地球温暖化の進行を防ぐために、「暖房は20度まで」「部屋が温まったら暖房を消す」「テレビを見る時間を短くする」などの電気使用量を抑える目標を決めて実践しました。

感染症の流行や地球温暖化を進めたのは人間であり、これらをなくし、元通りの世界に戻すことができるのも、人間だと思います。みんなで知恵を出し合い、コロナ対策も地球温暖化対策も一人一人がちゃんと意識して行えば、感染症も地球温暖化も止められると思います。

町教育委員会主催の「コロナに打ち勝て桑折っ子プロジェクト」。町内小中学生からの応募数約800点の中で、努力賞に選ばれた。

Town report

長 大槻深悦さんに高齢者叙勲「旭日単光章」 年の功績をたたえて

元町議会議員の大槻深悦さんが、高齢者叙勲「旭日単光章」受章の栄に浴され、伝達式が2月4日、役場で行われました。熊田孝県北地方振興局長から大槻さんに勲記と勲章が手渡されました。高橋宣博町長と片平秀雄町議会議員があいさつし、功績をたたえました。

大槻さんは、平成7年から平成19年までの3期12年にわたり町議会議員を務め、福祉厚生常任委員会委員や市町村合併対策特別委員会副委員長を歴任、平成15年から平成19年までの3年余りは副議長を務めるなど、地方自治の進展に尽力されました。



▲「人生100年。健康で幸福で笑いのあるにぎやかな人生を送りたい」と話す大槻さん



▲(左から)高橋町長、橋本代表取締役社長、竹内与志夫取締役、石幡亮取締役

超 TERIOS Plus(株)寄附贈呈 音波加湿器・除菌剤セットを寄贈

TERIOS Plus 株式会社2月4日、新庁舎で役立ててほしいと、超音波加湿器と除菌剤セットを町に寄附しました。

橋本武司代表取締役社長らが新庁舎を訪れ、「新型コロナウイルスをはじめ、あらゆるウイルス・花粉を抑える効果や脱臭効果など、さまざまな場面で活用できる。少しでも町のために貢献できたらうれしい」と話しました。高橋町長は「コロナ禍の中、時機を得た支援に感謝申し上げる。来庁した町民の皆さんのために有効活用していきたい」とお礼を述べました。

新 町建設業組合寄附贈呈 庁舎で役立ててほしい

町建設業組合が2月10日、新庁舎で役立ててほしいと、目録100万円を町に寄附しました。

熊坂勇司会長が新庁舎を訪れ、「新庁舎整備関連に役立ててほしい。これからもさまざまな場面で連携していきたい」と話しました。高橋町長は「日ごろから地域振興の下支えをしていただき大変感謝している。今後も互いに連携し、町民サービスの充実および防災拠点としての機能強化、さらなる地域の発展のためにまい進していきたい」と話しました。



▲「新庁舎整備関連に役立ててほしい」と高橋町長に目録を手渡す熊坂会長(右)



▲侵入防止策の管理方法や効果、動物ごとの特徴を捉えた対策などについて学びました

地 有害鳥獣被害防止対策勉強会 域ぐるみで被害防止

有害鳥獣被害防止対策勉強会が2月9日、イコーゼで行われました。イノシシの侵入防止柵が設置されている山間部の町内会から代表者18人が参加しました。

勉強会では、はじめに、県のモデル地区として活動してきた松原上地区から取り組み成果報告がありました。続いて、専門家であるNPO法人おーでらすの今野万里子代表理事を交えて意見交換を行いました。参加者からは「対策の効果が動画で見られて分かりやすかった」などの感想がありました。

コロナ禍の経済活性化・生活支援のために 町民を応援する3種類の商品券を発行

新型コロナウイルス感染症の影響により、停滞している町内の経済活動や個人の生活を支援し、地域における消費活動を活性化するために、3種類の商品券を発行します。

こおり応援商品券

マイナンバーカードの取得応援として、カード申込者に対し、町内店舗(大型店を除く申請加盟店)で使える3,000円分の商品券を配布しています。

■使用期限 8月31日まで
※当初3月15日までを期限としていましたが、新型コロナウイルスの感染状況により延長しました。すでにお持ちの人は、そのまま使用できます。
■産業振興課 商工観光推進室 ☎582-2126

こおりプレミアム商品券

町内店舗(大型店を含む申請加盟店)で使える1万円1万5千円分の商品券2,000セットを発行し、地域経済の回復や家計への支援につなげていきます。

■使用期限 5月31日まで
■対象 高校生以上の町民(町に住居登録がある人)
■委託先 桑折町商工会
■産業振興課 商工観光推進室 ☎582-2126

子育て応援商品券

子育て世帯に対し、児童1人あたり1万円分の商品券を発行します。町内店舗(大型店を含む申請加盟店)で使えますので、進級や進学を迎えるこれからの時期にお役立てください。

■使用期限 5月31日まで
■対象 子育て世帯
①0歳から中学校3年生



▲3種類の商品券を発行しています

(2月1日現在町に住居登録がある人)
②令和3年3月31日までに出生し、町に住居登録をする人(2月1日現在父または母が町に住居登録がある人)
■給付方法 住民登録地へ郵送
■健康福祉課 子育て支援係 ☎582-1133
※それぞれの商品券の詳細は、町ホームページをご確認ください。



幼稚園児・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

町は、令和3年度の新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の制服を贈呈しました。

これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園・学校生活を送ってほしいとの思いから、今年で5年目の実施となります。また、子育て世代の入学時における経済的負担の軽減を図ることも目的としています。

2月3日、醸芳幼稚園で贈呈式が行われました。園児らは園長から制服を受け取ると、「小学校に行っても頑張ります」と笑顔で答えました。同じく2月19日、26日には新中学生へ、同月25日、26日には新入園児へ制服が贈られました。



▲入学への期待をふくらませる新1年生

魅力たっぷり「子育て支援」

町では、この他にも、出産時におむつやおもちゃをセットにした育児パッケージのプレゼントや幼稚園給食費の無料化、保育所保育料の減免、医療費助成などを行っています。

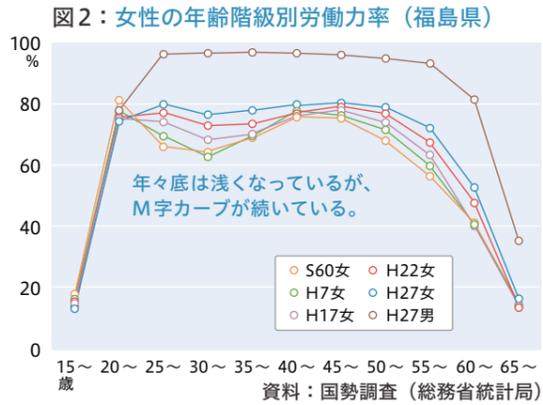
令和に考える男女共同参画とは

男女共同参画と聞いて、どのようなイメージをもちますか。男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し合い、職場や学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会のことです。

令和の時代になり、働き方や家庭のあり方、個人の価値観も、年々変化しています。改めて、誰もが自分らしく生きられる理想の男女共同参画社会について考えてみましょう。

福島県の働き方・家事分担の現状は

まず、社会の現状を見ていきます。家事・育児・介護の割合については、「全部」または「大部分」を負担していると回答した女性の割合が高く、女性への負担が大きいことが分かります(図1)。また、女性の年齢階級別労働力率を見ると、学校の卒業の20代でピークを迎えたのち、出産・子育てを迎える30代で底を打ち、子育てがひと段落した40代で上昇するという、いわゆる「M字カーブ」が描かれています。共働き世帯が増加し、年々底は浅くなっています。



町が目指す男女共同参画社会

町は、平成25年に向こう10年間を見据えた「第2次こおり男女共同参画プラン」を策定しました。社会情勢の変化に適切に対応するため、平成30年度に一部見直しを図り、男女共同参画推進へ取り組んでいます。下記の5つの基本理念を掲げ、企業や関係団体などと連携しながら、社会の形成を目指しています。具体的な事業として、町内の企業や事業所、団体などに勤める女性を対象にした「こおりレディースカフェ」を行っています。異業種の女性が集

Special Column

支え合いで未来が広がる

「男は仕事、女は家庭」と思っていないませんか。まずは家庭から、男女共同参画を見直していきましょう。



check

当てはまったら要注意
意識セルフチェック

- デートの費用は男性が持つべきだ
- 女性なら料理ができて当たり前
- 男性に子育ては向いていない
- ピンクの服を着ている子は女の子だと思ってしまう

まり、生活していく上での悩みや不安を共有し合い、職場でも家庭でも、自分らしく生きられるあり方について意見を交わしています。また、「男性のための料理教室」や「おとう飯プロジェクト」にも取り組んでいます。料理が苦手な男性でも手軽に作れて、おいしいレシピを紹介し、男性の家事への参加促進

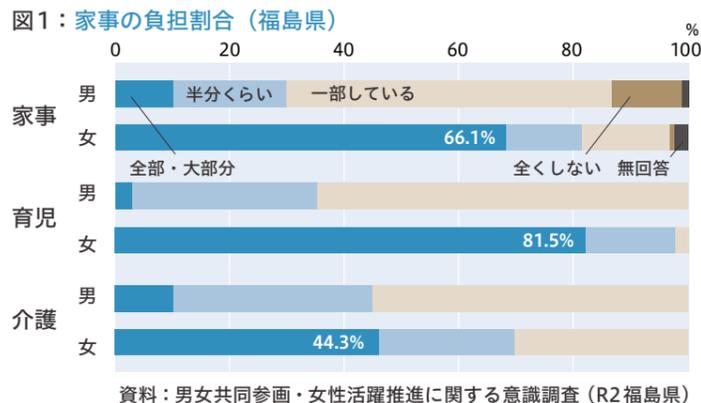
町の基本目標と施策の方向性 「こおり男女共同参画プラン」

<p>1 町の男女平等を基本とした男女共同参画の意識づくり</p> <p>学校・職場・地域で、男女平等意識を醸成する教育や生涯学習へ取り組む。多文化共生社会における国際交流を促進する。</p>	<p>〔見直しのポイント〕</p> <p>東日本大震災における教訓を生かした防災 H25</p> <p>女性活躍推進法が施行され、働き方が変化 H30</p>
<p>2 男女が共に家庭生活・地域活動に参画できる社会づくり</p> <p>仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を推進する。就労の場・防災分野における男女共同参画を促進する。</p>	<p>4 人権が侵害されることのない社会の実現</p> <p>男女間の性差別やあるゆる暴力を根絶するために、相談体制の充実を図る。生涯を通じた男女の健康支援に取り組む。</p>
<p>3 女性人材の育成と意思決定過程への参画促進</p> <p>女性が政策や方針決定過程に参画するため、女性の登用の拡大が図れるよう、女性人材の積極的な育成を図る。</p>	<p>5 働く女性・働きたい女性が活躍できる環境づくり</p> <p>女性の力を生かした職業生活を推進する。育児や介護に配慮した多様な働き方、ハラスメントのない職場づくりを推進する。</p>

キラっ人☆ふくしま

福島県女性活躍応援ポータルサイトでは、県内で自分らしく仕事と家庭を両立させている、キラッと光る「キラっ人さん」を紹介しています。また、家事に取り組む男性「カジダン」に役立つ情報も随時発信しています。

誰もが豊かな人生を過ごすために
いま日本は、男性・女性の枠に捉われないことなく、誰もが活躍できる社会に向けて大きく動いています。しかし、「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識が根強く残っているのも事実です。今後少子高齢化が進むにつれ、男女共に、その個性と能力を十分に発揮できる社会が求められます。「男性だから、女性だから」と性別の枠に捉われず、みんなで活躍できる社会を作るために、まずは家庭のことから取り組んでいきましょう。



ですが、依然としてM字カーブが続いている状況です(図2)。福島県内の女性に「仕事を辞めた理由」を聞いた意識調査では、男性に比べて、女性は「結婚・出産・育児」を理由に退職した人の割合が一番多くなっています。男性も女性も平等に自分らしく生活するためには、どちらか一方に負担が偏るのではなく、支え合いが必要ではないでしょうか。

「こおり健康楽会」こおり健康ポイント事業 第11回

ポイント貯めて、楽しく健康づくり

健診や運動教室、福祉ボランティア活動に参加して、ポイントを貯める「こおり健康ポイント事業」。「ポイント」を貯めながら、楽しく健康づくりができる」と、好評の声がたくさん届いています。みんなで参加して、健康な体とおいしい地場産品や健康グッズを手に入れましょう。

「健康ポイント」ご存知ですか
健康意識を高めるために、健康の三本柱である「食・運動・社会参加」の促進を目指す「こおり健康ポイント事業」。昨年9月に開始し、現在多くの人が参加しています。

「こおり健康ポイント事業」とは、町の健診や健康教室、介護福祉施設で行うボランティア活動などに参加し、カードにポイントを貯めていくものです。対象事業ごとに付与されるポイントが異なり、50ポイントを貯めると、地元産品や健康グッズなどの景品と交換できます。ポイントが貯まる楽しみがある「健康な体と景品を手に入れら

れ一石二鳥でうれしい」などと、参加者からも大好評です。
健康と商品を手に入れましょう
いよいよ3月から地元産品や健康グッズの交換を開始します。カード1枚（50ポイント）で、好きな景品1つと引き換えられます。なお、令和3年度も事業を継続しますので、カードのポイントが貯まり次第、健康福祉課の窓口へお越しください。健康な体と景品を手に入れて、笑顔でいきいきと過ごしましょう。

■交換日時 3月3日（随時受付）
午前8時30分～午後5時15分
（土日祝日除く）

■交換場所 役場 健康福祉課
☎582-1133

「こおり健康ポイント事業」は、町の健診や健康教室、介護福祉施設で行うボランティア活動などに参加し、カードにポイントを貯めていくものです。対象事業ごとに付与されるポイントが異なり、50ポイントを貯めると、地元産品や健康グッズなどの景品と交換できます。ポイントが貯まる楽しみがある「健康な体と景品を手に入れら

■主なポイント対象事業

対象事業	ポイント
特定健診、後期高齢者健診など	10
各種がん検診、その他検診	5
人間ドック	10
歯科検診	5
こおり運動教室、こおり水泳教室	3
健康料理教室など	3
いきいき百歳体操など	3
健康講演会など	3
乳幼児健診	5
すくすくカフェ、すくすくキッチン、すくすくの日	1
ベビールーム、キッズひろば	1
ぽかぽかクラブ、ママカフェ「スマイル」	1
介護福祉施設など※で行うボランティア活動	1
ボランティアセンターを通じた活動	1
町が実施する道路などの環境美化活動	1
地域クラブのボランティア活動	1
町シルバー人材センター登録（年1回）	1
健康相談	1
イコーゼのプール利用	1
特定保健指導（+結果改善）	3 (+2)
インボディ測定	3
献血	3
ホールボディカウンタ測定（内部被ばく検査）	1
健康こおりオリンピック各部門エントリー（提出）	5
その他町が主催するウォーキングなどのイベント	5

※あつかし荘、桑折聖オリーブの郷、桑折緑風園、輪楽創、コクーン、サンシア、ささえ愛ふらっと、大かや園デイサービス、やすらぎ園デイサービス

健康ポイント50ポイントで、好きな景品を1つプレゼントします。

ポイント交換商品



ピザスタ利用券 (500円分)



至福の桃グミ・飲むこんにゃくゼリー (2本) セット



ゆずみそ (1パック 140g)



黒ごまみそ (1パック 140g)



本醸造キッコーゲン 月印醤油 (1ℓ)



伊達の味 (360ml)



熟ソース (360ml)



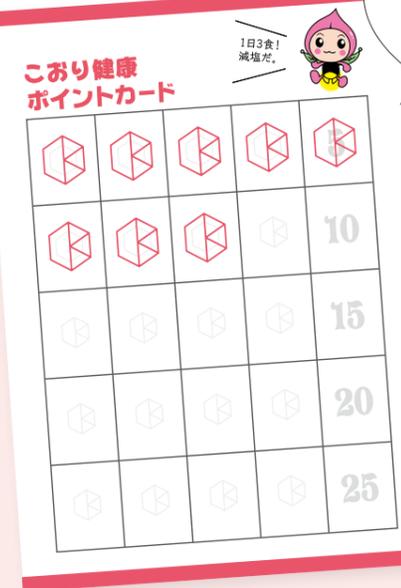
伊達ぼん (360ml)

※おいしい地場産品や健康増進グッズなど、9種類の景品から1つ選べます。
※それぞれ数に限りがありますので、ご了承ください。
※必ずいずれかはお渡しできます。



万歩計・オリジナル反射材 (タスキ) セット

3/3～ポイント交換スタート！
楽しくポイントを貯めて健康な体と景品をゲット！



健康づくりのきっかけに参加しませんか

4月以降も「こおり健康ポイント事業」の参加を受け付けています。「こんな事業知らなかった」「わたしもやってみよう」という人は、役場の健康福祉課窓口へお越しください。ポイントカードをお渡しします。

「健康で安心して暮らせる町」の実現に向けて、皆さんの健康管理を応援します。家族や友人とポイント対象事業に参加して、健康な体とおいしい地場産品や健康グッズを手に入れましょう。

※この事業は、「令和2年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）」の補助により実施しています。

3/3 WED	広報3月号、お知らせ版	★
4 THU		♡
5 FRI	ホールボディカウンタ測定日	◆
6 SAT		
7 SUN	◎まつもとクリニック ☎582-4800 ◎伊藤皮膚科クリニック ☎551-1121	
8 MON		♡
9 TUE		
10 WED	健康相談日	★
11 THU	3歳6か月児健診 (H29年7・8・9月生) (受付: 個別通知)	
12 FRI	中学校卒業式	★◆
13 SAT		
14 SUN	◎ミツバチいたみと眠りのクリニック ☎572-5328	
15 MON	ホールボディカウンタ測定日	♡
16 TUE	1歳6か月児健診 (R1年7・8月生) (受付: 13:00~13:30)	
17 WED	お知らせ版	★
18 THU	幼稚園修了証書授与式	♡
19 FRI		★◆
20 SAT	天皇誕生日 ◎大木内科医院 ☎575-3343	
21 SUN	◎大泉ほんだクリニック ☎563-7587	
22 MON		♡
23 TUE	桑折町高齢者作品展 (~3/26) 小学校卒業式	
24 WED		★
25 THU	保育所修了式	♡
26 FRI		★◆
27 SAT		
28 SUN	◎小野寺整形外科医院 ☎575-2001	
29 MON		♡
30 TUE		
31 WED	教職員離任式	★

●イコーゼ ●やすらぎ園 ◎休日当番医 ◆母子手帳交付日
【子育て支援センター】: イコーゼ 10:00~11:30
♡ベビールーム (1か月~1歳5か月ごろのお子さんと保護者)
★キッズひろば (1歳6か月ごろ~就園前のお子さんと保護者)
▶「すくすく」(☎582-6045)へ事前に予約してください。

Recipe

今月の健康レシピ

キャベツのちぎりサラダ



- 材料 (4人分)
春キャベツ …… 1/4個 (200g)
にんじん …… 1本
くるみ …… 10g
酢 …… 大さじ2
りんごのすりおろし …… 大さじ3
A オリーブ油… 大さじ2
塩 …… 小さじ1/2
こしょう …… 少量

【1食分の栄養価】 エネルギー 109kcal / 脂質 7.9g / 鉄 0.4mg / たんぱく質 1.3g / カルシウム 34mg

■作り方

- 1 キャベツは軸をよけながら2cm角程度に手でちぎる。
- 2 にんじんは皮をむいてからスライサーでせん切りにし、塩少量(分量外)をふる。しんなりしたら手でみ、軽く水洗いして水気をきる。
- 3 くるみはフライパンで、少し焦げ色がつくまで空炒りし薄切りにする。
- 4 ボウルにAを混ぜ合わせ、①・②を和えて器に盛り、③を散らす。

voice / おすすめポイント



ほんのりと甘みがあり、栄養豊富な春キャベツ。りんごをすりおろした特製ドレッシングで、野菜をおいしく食べることができます。

高橋 利子さん

自宅での健康づくりを応援します!

滝口先生の「運動DVD」貸出開始!

自宅での健康維持・増進を図るために、運動DVDを無料で貸し出しています。このたび、健康講演会などでご指導いただいている、YAGOメディカルフィットネスクラブ健康運動士の滝口義光先生と齋藤和人先生によるDVDを追加しました。ぜひ活用して、コロナ禍でも元気に過ごしましょう!

■貸出中のDVD (貸出期間は約1か月)

- 1 運動「こおりヘルスアップトレーニング」
- 2 笑いヨガ
- 3 いきいき百歳体操、おもり
- 4 ラジオ体操

園健康福祉課 ☎ 582-1133

みんなで運動しよう



子どもが生まれる前は、「無事に生まれてくれさえすれば——」と願うだけですが、子どもが成長するにつれて、その期待が大きくなり、発達年齢以上のことを要求してしまいがちです。しかし、乳幼児期は、親が与えるものよりも、自分が熱中して取り組んだものを気が済むまで経験させることが大切です。

子育ての最終目標は、子どもの自立です。そのために一番大切なことは、乳幼児期にさまざまな実体験を経験させることです。そうした「種まきの時期」におすすめの体験について、5つ紹介します。

1 思う存分、自然に触れて五感で感じましょう

多様性や感性など、自然から得られるものは計り知れません。近所の公園や庭にある葉っぱや小石、土や砂、虫や木の実など、たくさんの方に実際に触れる体験はとても大切です。子ども一人一人のフィールドで、思う存分遊ばせてあげましょう。

2 「泥遊び」も気が済むまでとことんさせましょう

砂場で砂山をとことん高くしたり、穴をとことん掘ったり、子どもは自分がイメージしたことを最後までやり遂げたいもの。やりたいことをたくさん経験した子は、大人になっても、物事に対して粘り強く取り組めるようになります。

つつい「汚い」「いい加減早く終わらなさい」などの言葉をかけてしまうこともあるかもしれません。こうした言葉かけでは、子どもの主体性が育たなくなってしまいます。

3 感受性に響く言葉をたくさんかけましょう

まだまだ言語化できない乳幼児でも、さまざまなことを感じています。両親や養育者が「今日の夕焼け、きれいだね」「猫ちゃんかわいいね!」など、形容詞をたくさん使って話しかけてあげましょう。両親や養育者の感性や言葉づかいは、子どもの感性を伸ばすきっかけに大きく関わってきます。

4 理理的な不思議を経験させてあげましょう

例えば、服を脱ぐとばちばちと静電気が発生したり、霜柱や氷を見つけたら、幼虫からカブトムシになったりする、冬場に起こる不思議な体験。こうした体験を乳幼児期にたくさん経験しておくことで、その時は意味が分からなくても、学校で習う場面で「あっ!あの時のことだ!」と腑に落ちる瞬間があります。実際に経験・体験することは、後々の学習につながります。



汗だくなるまで公園で遊ぶ経験も、子どもの粘り強さが育つきっかけに

5 人との関わりを学ばせましょう

「人が怖くない」「人といるのが楽しい」と思う子どもになるために、幼稚園へ通園させることはとても大切です。けんかもせずお利口に過ごすのではなく、友達とけんかをして、先生に叱ってもらったりすることで、その後、相手の立場に立って物事を考えられたり、職場で叱られても心が折れない強い大人に育つことができます。

幼稚園は、人間形成の基礎を築く場所です。成功体験も大事ですが、乳幼児期には失敗体験も重要です。ただ、そのおおもとなるのは、両親や養育者の見守る姿勢やスキンシップです。家族以外の人との関わりをスムーズにもてるようにするために、家庭でのふれあいの時間を大切にしましょう。



大人の言葉かけが子どもの感性を育みます

図書だより

☎ 遊学館「よも〜よ」 ☎ 582-5388

今月のおすすめ /

おうち時間を楽しくする新作図書

おうち時間を楽しく過ごせるように、遊学館「よも〜よ」の図書を充実させました。

■ 一般書 (新着図書: 全111冊)

タイトル	著者	出版社
「織細さん」の本	武田友紀	飛鳥新社
365日日本一周絶景の旅	TABIPPO	いろは出版
図解新型コロナウイルスメンタルヘルス対策	亀田高志	エクスナレッジ
Q&Aでよくわかる口から健康まるごとBOOK	日本訪問歯科協会	現代書林
昔ながらの家事コツと裏ワザ750選	主婦の友社	主婦の友社
桃のお菓子づくり	今井ようこ 藤原かえで	誠文堂新光社
決定版野菜づくり大百科	板木利隆	家の光協会
十万光年の詩	和合亮一	佼成出版社
湯けむり食事処ヒソップ亭	秋川滝美	講談社
十津川警部愛憎の行方	西村京太郎	徳間書店
ほたる茶屋千成屋お吟	藤原緋沙子	KADOKAWA
わたしに無害なひと	チェウニョン	亜紀書房

図書のインターネット予約貸出

遊学館「よも〜よ」では、図書のインターネット予約を始めました。図書利用者カードを持っている人が対象で、1人5冊まで予約できます。右記QRコードからご利用ください。

※通常の貸出も利用できます。

詳細はこちら



■ 児童書 (新着図書: 全231冊)

タイトル	著者	出版社
なかのなかにはしかけえほん	デビッド・A・カーター	大日本絵画
お?かお!しかけえほん	ひらぎみつえ	ほるぷ出版
しつないあそびの絵本	WILLこども知育研究所	金の星社
くらべてよもうどうぶつ の赤ちゃん 全3巻	かんちくたかこ	あかね書房
こどもスポーツシリーズ 全10巻	関口勝己 他	ベースボールマガジン社
詩をつくらう 全3巻	和合亮一	汐文社
なぜ僕は働くのか	池上彰	学研プラス
魔法の庭ものがたり シリーズ	あんびるやすこ	ポプラ社
ぼくらの七日間戦争 シリーズ	宗田理	ポプラ社
はだしのゲン 全10巻	中沢啓治	汐文社

INVITING COMMUNITY
ZONE FOR EVERYONE

生涯学習だより

大人へ踏み出す大きな一歩 令和2年度桑折町立志式

桑折町立志式は、数え年で15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任感をもつきっかけとなるよう、中学2年生を対象に、青少年育成町民会議の事業として実施しています。

今年度は、コロナ禍により、生徒が一堂に会しての式典は行わず、2月8日、授業の形で「立志」を学ぶ機会が設けられました。

生徒らは、高橋町長から「思いやりの心と感謝の心を忘れずに成長して欲しい」との思いが込められたメッセージ動画を視聴し、生徒の「感謝と決意の言葉」と保護者からの手紙が添えられた立志証書を担任から受け取りました。また、生徒代表の齋藤人知さんの「誓いのことば」や片平町議会議長などからの「励ましの言葉」をまとめた冊子も手渡されました。生徒たちは自らの夢や希望に向かって、志を新たにしました。



1_ 証書を手に笑顔でピース (2年3組) 2_ 高橋町長からのメッセージを胸に刻みました 3_ 担任から生徒一人一人に証書が手渡されました

マルベリーこおり

☎ マルベリーこおり事務局 ☎ 582-3129

マルベリーキッズ運動教室

陸上競技専門の指導者が子どもたち一人一人の発達段階に応じて、遊びを取り入れた練習や競技に特化したトレーニングなどを中心に指導します。体力・運動能力アップを目指しましょう。

■ 活動日 土曜日 17:30 ~ 19:30

■ 場所 町民体育館

■ 対象

・キッズコース 小学1~3年生 定員20人

・ジュニアコース 小学4~6年生 定員15人

■ 指導者 菊田明博先生

(福島大学トラッククラブコーチ) 他

■ 参加費 月額2,000円

※マルベリーこおり会員であること。

※新年度メンバー募集受付は4月より開始します。

見学希望者は、事務局まで申し込みください。

年会員になりませんか

年会員になると、入会月から翌年の入会月までの1年間に行われる各プログラム・イベントが会員価格で参加できます。

■ 年会費 (保険料込)

・子ども 1,500円 (~中学生15歳まで)

・大人 3,000円

(16歳以上の年齢制限はありません)

・ファミリー 5,500円

(同居の家族なら何人でもOK)

◎ 当町は、総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」の活動助成にスポーツ振興くじ助成金 (toto助成金) を受けています。



山城サミットに向けて 桑折西山城整備進行中

国指定史跡「桑折西山城跡」は、町の保存管理・整備計画、歴史的風致維持向上計画をもとに、平成28年度から整備を進め、今年度一区切りを迎えます。今年度は、西館にある樹形状虎口の遺構保護整備や大手口の遊歩道整備など、重要な遺構の保護とアクセスの向上を図るために整備を進めています。今年10月には、いよいよ桑折西山城跡を舞台にした第28回全国山城サミット桑折大会が開かれます。全国から多くの山城ファンを迎えるためにも、工事へのご協力をよろしくお願い致します。



半年間元気に活動 こおり地域クラブ

令和2年度こおり地域クラブは、6団体の文化系クラブと4団体の運動系クラブの合計10団体のクラブで活動しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で9月からのスタートとなり、例年よりも活動回数が減ってしまいましたが、子どもたちは意欲的に活動へ取り組んでいました。地域のボランティアの皆さんの丁寧な指導により、約半年間の活動を通して、子どもたちは学校や学年などの枠を超えて、楽しく学ぶことができました。



文化財を守ろう 旧伊達郡役所放水訓練

1月26日の「文化財防火デー」に合わせて、放水訓練が2月6日、国指定重要文化財「旧伊達郡役所」で行われました。例年は消防署や消防団、女性防火クラブ、町内会などの協力のもとに実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して施設職員らで訓練を行いました。

桑折町には、未来に継承すべき、守るべき歴史的財産が多くあります。この火災の発生しやすい時期に、町の財産を認識するとともに、家庭でも火災予防に努めましょう。

いざ!山城サミット

Koori Nishiyama Castle

伊達崎の館沢地区は、阿武隈川の氾濫原に対して、ちょうど岬のような地形になっています。ここにも桑折西山城の支城のひとつである、伊達崎城がありました。

伊達崎城は、伊達氏初代朝宗の六男実綱を祖とする一族伊達崎氏の居館と言われています。伊達崎氏は、後に本家の伊達氏と紛らわしかったため、「田手氏」と改めたと伝えられています。桑折西山城の時代の当主宗光は、伊達植宗と息子の晴宗が争った天文の乱で、晴宗方として手柄を立て、伊具郡（宮城県）

桑折西山城だより 伊達崎城と田手氏

の管理を任されて角田城主に栄転しました。

館沢地区の河岸段丘上には、現在でも土塁と堀で囲まれた西館が残されており、そこが居館が建てられていた場所だと考えられています。その東側は、東館と呼ばれ、岬状になった突端部に位置しています。城の南側と西側に広がる平地を一望でき、阿武隈川東岸地域も眺めることができます。

先月号で紹介した、桑折地区の播磨館から伊達崎城までの河岸段丘上には、城館がいくつも築かれていました。天文の乱で

は、現在の下郡あたりで戦闘が行われた記録もあります。桑折西山城は、これらの伊達氏一族や家臣が守る城館群を防衛ラインとしていました。



伊達崎城の土塁と堀

問い合わせ
生涯学習課 歴史文化係
☎582-2408

わたしの夢

Dreams come true.

身近な人を幸せにしたい 渡邊 琳斗さん（醸芳中3年生）



WATANABE
RINTO

2歳のころからダンスを続けています。高校ではダンス部に入り、勉強と両立させたいです。

わたしの将来の夢は、公務員になることです。同居している祖父が元警察官ということもあり、仕事の話の聞いたり、休日に職場を案内してもらったりしているうちに、公務員への興味がわいてきました。

中学2年生の時に開催された職場体験では、小学校へ行き、児童に算数や体育を教えました。児童の喜ぶ顔を見て、「役に立てた」という大きなやりがいを感じました。

公務員と言っても、幅広くさまざまな職種があります。今はまだ悩んでいますが、どの職に就いたとしても、「身近な人を幸せにする」という気持ちを大切にしたいです。積極的に人と関わり、多くの人を笑顔にできるような大人になりたいです。

Information



皆さんの寄附を有効活用しています

ふるさと納税 多くの寄附をいただきました

令和2年（4月～12月）までのふるさと納税は、令和元年度実績の75,598千円（3,489件）を上回る82,235千円（4,118件）の寄附をいただきました。

町では、いただいた寄附金を寄附者の意向に沿って、さまざまな事業に活用しています。また、2月13日に発生した福島県沖地震の復旧・復興の財源確保のため、災害支援寄附の受付も始めました。

皆さんの応援を力に、さらなる町の発展に努めていきます。

■問い合わせ 総務課 ☎582-2111

令和2年度中にふるさと納税を活用した主な事業（100万円以上の事業を掲載）

事業の種類	活用事業	充当額
社会福祉・児童福祉	入学祝い制服事業	5,000,000円
保健衛生	メタボ予防運動教室事業	1,000,000円
農林業振興	モモせん孔細菌病防除対策事業	1,200,000円
社会資本整備	防犯灯LED化交換工事業	3,200,000円
教育	教職員業務支援システム導入事業	1,200,000円
災害復旧	公衆Wi-Fi機器環境整備事業	2,400,000円

こおりスマイル You have a good smile.



遠藤
萌ちゃん

いつもニコニコ♪みんなを笑顔にしてくれてありがとう ママより♡



遠藤
楽くん

丈夫で元気に育ってね！
パパより♡



鈴木
仁彩ちゃん
彩央ちゃん

いっしょにいっぱい遊んでね！
お母さんより♡

町民の皆さんの笑顔の写真を募集します。年齢は問わず、赤ちゃんから学生さん、大人の方まで大歓迎！
①最近撮影した写真 ②氏名（ふりがな）・性別 ③メッセージ（20字程度）を記入して応募してください。
【応募先】総合政策課 ☐seisaku@town.koori.fukushima.jp 右QRコードから簡単にメール送信できます。



広告

広告

こおり暮らし

愛らしく、心込めて舞う

地域の文化継承を祈って――

小野美緒さん（左）、大内菜里さん（右）（伊達崎）



ONO MIO
OUCHI SHIORI

「学年を越えて、みんなで踊れたことも、踊りの後のお茶会の時間も全部楽しかった」と振り返ります。

伊達崎稚児舞保存会で、踊りの練習をしている小野美緒さんと大内菜里さん。現在6年生の二人は、3月で稚児舞の活動を卒業します。

小野さんは姉結香さんの影響で幼稚園児のころから、大内さんは小野さんに誘われて、小学1年生の時に踊りを習い始めました。毎月日曜日の早朝練習。「朝早くて辛い時もあったけれど、互いの存在が支えになった」と振り返ります。

「衣装を着ると、ウキウキする」と話す大内さん。小学校の卒業アルバムでは、大好きな稚児舞の袴を身につけて、思い出の一枚を収めました。「この衣装を着て、お化粧をすると、ついついはいしゃいじやう」と小野さんも目を細めます。

今年度の稚児舞を披露する祭礼行事は、コロナ禍で全て中止に。「最後の晴れ舞台が叶わなくて残念だったけれど、最上学年になるまで二人で続けられて良かった」と口を揃えます。「伊達崎地区は人数が少ない分、団結しやすいと思う。大切な踊りの文化をもっと広めてほしい」と後輩にエールを送りました。

【今月の表紙】

「日の目を見せてあげたいんです」と地域の方から一本の電話が。コロナ禍で晴れ舞台が叶わなかった稚児舞保存会の子どもたちを励ましたいというお話でした。久々の衣装に目を輝かせて、はしゃぐ子どもたち。笑顔があふれ、無邪気な歓声が響き渡っていました▼震災から10年。感慨深く思っていると、突然の大きな余震。時々めげそうになることもあるけれど、幸せは途切れながらも続くもの。明るい未来へ向かって、ともに歩いていきましょう（愛莉）

◆人口（前月比）2月1日付

人口	計	11,543人	(-25)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,555人	(-5)
	女	5,988人	(-20)
世帯数		4,616世帯	(-1)
転入	24人	出生	5人
転出	23人	死亡	31人

◆町税納付は口座振替を！

町税の納付は、納め忘れの心配がいらぬ「口座振替」が便利です。税務住民課でも申し込みができます。

☎ 税務住民課 収納係
☎ 582-2114

◆住民票/戸籍/印鑑/税証明/マイナンバーカード受取・申請・更新窓口延長（毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。）

※当日下午5時までに税務住民課（☎582-2114）へ要予約。